

特集 1	統合作戦司令部と統合作戦	1
特集 2	自衛官の処遇・勤務環境の改善及び 新たな生涯設計の確立	5
特集 3	防衛この一年	13
	ダイジェスト 本文第Ⅰ部～第Ⅴ部の記述について、分かりやすく要約しています。	19

第Ⅰ部 わが国を取り巻く安全保障環境

第1章 概観	
1 グローバルな安全保障環境	35
2 インド太平洋地域における安全保障環境	36
第2章 ロシアによる侵略とウクライナによる防衛	
1 全般	41
2 ウクライナ侵略の経過と見通し	41
3 ウクライナ侵略が国際情勢に与える影響と各国の対応	47
第3章 諸外国の防衛政策など	
第1節 米国	51
1 安全保障・国防政策	51
2 軍事態勢	56
第2節 中国	60
1 全般	60
2 軍事	61
3 対外関係など	84
第3節 米国と中国の関係など	89
1 米国と中国の関係（全般）	89
2 インド太平洋地域における米中の軍事動向	91
3 台湾の軍事力と中台軍事バランス	93
第4節 朝鮮半島	99
1 北朝鮮	100
2 韓国・在韓米軍	120
第5節 ロシア	124
1 全般	124
2 安全保障・国防政策	124
3 軍事態勢と動向	126
4 北方領土などにおけるロシア軍	132
5 対外関係	133
第6節 大洋州	138
1 オーストラリア	138
2 ニュージーランド	141
3 太平洋島嶼国	142
第7節 東南アジア	143
1 全般	143
2 各国の安全保障・国防政策	143
3 地域内外における協力	148
第8節 南アジア	149
1 インド	149
2 パキスタン	151
3 カシミール地方の帰属をめぐるインドとパキスタンとの対立	152
第9節 欧州・カナダ	154
1 全般	154
2 多国間の安全保障の枠組みの強化	154
3 欧州各国などの安全保障・防衛政策	156
第10節 その他の地域など（中東・アフリカを中心に）	160
1 中東	160
2 アフリカ	163
3 国際テロリズムの動向	167
第4章 宇宙・サイバー・電磁波の領域や 情報戦などをめぐる動向・国際社会の課題など	
第1節 情報戦などにも広がりをもせる科学技術をめぐる動向	169
1 科学技術と安全保障	169
2 軍事分野における先端技術動向	170
3 民生分野における先端技術動向	171
4 情報関連技術の広まりと情報戦	172
5 防衛生産・技術基盤をめぐる動向	173

第2節 宇宙領域をめぐる動向	175	第5節 海洋をめぐる動向	187
1 宇宙領域と安全保障	175	1 「公海自由の原則」などをめぐる動向	187
2 宇宙空間に関する各国の取組	175	2 海洋安全保障をめぐる各国の取組	187
第3節 サイバー領域をめぐる動向	179	3 北極海をめぐる動向	188
1 サイバー空間と安全保障	179	4 海底インフラをめぐる動向	189
2 サイバー空間における脅威の動向	179	第6節 大量破壊兵器の移転・拡散	190
3 サイバー空間における脅威に対する動向	181	1 核兵器	190
第4節 電磁波領域をめぐる動向	184	2 生物・化学兵器	191
1 電磁波領域と安全保障	184	3 弾道ミサイルなど	191
2 電子戦に関する各国の取組	185	4 大量破壊兵器などの移転・拡散の懸念の拡大	192

第Ⅱ部 わが国の安全保障・防衛政策

第1章 安全保障と防衛の基本的考え方

第1節 安全保障を確保する方策	195
第2節 憲法と防衛政策の基本	195
1 憲法と自衛権	195
2 憲法第9条の趣旨についての政府見解	196
3 基本政策	196
第3節 安全保障政策の体系	198

第2章 国家安全保障戦略などの「三文書」

第1節 国家安全保障戦略の概要	199
第2節 国家防衛戦略の概要	200
1 防衛大綱から国家防衛戦略への変遷	200
2 国家防衛戦略の概要	202
第3節 防衛力整備計画の概要	209
1 計画の方針	209
2 自衛隊の体制など	209
3 整備規模	210
4 所要経費など	215

第3章 防衛力整備と予算

第1節 2025年度の防衛力整備の基本的考え方	216
-------------------------	-----

第2節 防衛関係費	218
1 2025年度防衛関係費の概要	218
2 重点ポイント	218
3 人的基盤の抜本的強化に関する取組	221
4 防衛関係費の内訳	221
5 最適化への取組	224
6 防衛力強化のための財源確保	224
7 各国との比較	224

第4章 安全保障と防衛を担う組織

第1節 国家安全保障会議	227
第2節 防衛省・自衛隊の組織	228
1 防衛力を支える組織	228
2 自衛隊の統合運用体制	232
3 統合作戦司令部	232

第5章 自衛隊の行動に関する枠組み

1 自衛隊の任務	235
2 わが国の防衛	235
3 公共の秩序の維持や武力攻撃に至らない侵害への対応など	237
4 重要影響事態への対応	241
5 国際社会の平和と安定への貢献に関する枠組み	242

第Ⅲ部 防衛目標を実現するための3つのアプローチなど

第1章 わが国自身の防衛体制

第1節 わが国に対する侵攻への対応など	247
1 わが国に対する侵攻や大規模テロなどへの対応	247
2 力による一方的な現状変更やその試みへの対応など	252

第2節 わが国の防衛力の抜本的強化	266
1 スタンド・オフ防衛能力の強化	267
2 統合防空ミサイル防衛能力の強化	268
3 無人アセット防衛能力の強化	272
4 領域横断作戦能力の強化	273
5 指揮統制・情報関連機能の強化	284
6 機動展開能力の強化と国民保護の取組など	290
7 持続性・強靱性の強化	295

第3節	国全体の防衛体制の強化	300
1	研究開発	300
2	公共インフラ整備	301
3	サイバー安全保障	301
4	わが国と同志国の抑止力の向上などのための国際協力	302
5	平素からの常時継続的な情報収集・警戒監視など	303
6	宇宙領域に関する取組	304
7	大規模災害などへの対応	305
8	在外邦人等の保護措置および輸送への対応	309
第4節	わが国自身による	
	防衛体制を強化するための訓練・演習など	311
1	わが国自身による抑止力・対処力を強化するための訓練	311
2	各種訓練環境の整備や安全管理の取組	314
第2章 日米同盟		
第1節	日米安全保障体制の概要	317
1	日米安全保障体制の意義	317
2	日米防衛協力のための指針（ガイドライン）の内容	318
3	日米間の政策協議	318
第2節	日米共同の抑止力・対処力の強化	321
1	宇宙領域やサイバー領域などにおける協力	321
2	統合防空ミサイル防衛	322
3	情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動	322
4	米軍等の部隊の武器等防護	322
5	後方支援	322
6	共同訓練・演習	323
7	拡大抑止	323
8	共同使用	324
第3節	同盟調整機能の強化	325
1	同盟調整メカニズムの設置	325
2	指揮・統制の強化	326
3	運用面におけるより緊密な調整	326

第4節	共同対処基盤の強化	328
1	情報保全およびサイバーセキュリティ	328
2	防衛装備・技術協力	328
第5節	在日米軍の駐留に関する取組	329
1	在日米軍の駐留	329
2	在日米軍再編に向けた取組	332
3	在日米軍の駐留に関する取組	347
第6節	日米共同訓練・演習など	354
1	日米同盟の強化に資する訓練	354
2	日米に第三国を交えた多国間共同訓練	356

第3章 同志国などとの連携

第1節	多角的・多層的な安全保障協力の戦略的な推進	361
1	同志国などとの連携の意義など	361
2	各国との防衛協力・交流の推進	364
3	多国間安全保障協力の推進	396
4	能力構築支援への積極的かつ戦略的な取組	403
5	女性・平和・安全保障（WPS）推進に向けた取組	405
6	海洋安全保障の確保	408
第2節	国際平和協力活動への取組	410
1	国際平和協力活動の枠組みなど	410
2	国連PKOなどへの取組	411
3	国際緊急援助活動への取組	414
第3節	軍備管理・軍縮や不拡散への取組	417
1	軍備管理・軍縮・不拡散関連条約などへの取組	417
2	大量破壊兵器の不拡散などのための国際的な取組	418
第4節	同志国との訓練・演習など	420
1	同志国との二国間共同訓練	420
2	同志国などとの多国間訓練	421



防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための基盤の強化

第1章 自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議

第1節	自衛官の処遇改善	428
第2節	生活・勤務環境の改善	428
第3節	新たな生涯設計の確立	428
第4節	その他	429

第2章 人的基盤の抜本的強化に関する検討委員会

第3章 人的基盤強化のための各種施策

第1節	人的基盤強化の取組	431
1	採用段階の取組強化	431
2	予備自衛官などの活用	435
3	処遇の向上など	438
4	生活・勤務環境の改善	438
5	人材の育成	439
6	退職・再就職などの取組	440
第2節	サイバー人材の確保	444
1	防衛省・自衛隊の任務とサイバー人材	444
2	サイバー人材の「確保」にかかる取組	444
第3節	ワークライフバランス・女性の活躍のさらなる推進	447
1	ワークライフバランス推進のための働き方改革	447
2	女性の活躍推進のための改革	448

第4節	ハラスメントを一切許容しない環境の構築	451
1	ハラスメント被害への対応	451
2	ハラスメント根絶に向けた措置に関する防衛大臣指示など	452
3	ハラスメント防止対策の取組	453
第5節	隊員や家族への支援	453
1	生涯生活設計支援	453
2	防衛省のメンタルヘルスの取組	453
3	ギャンブル等依存症への取組	454
4	家族支援への取組	454
5	殉職隊員への追悼など	455

第4章 その他の取組

第1節	衛生機能の変革	456
1	戦傷医療対処能力の抜本的強化	456
2	各種事態や多様な任務に対応するための衛生機能の強化	458
第2節	政策立案機能の強化	459
1	政策立案機能の強化に向けた取組	459
2	防衛研究所における取組	459
3	その他の機関における取組	460

第V部

防衛力を維持・強化するために必要な基盤や取組

第1章 いわば防衛力そのものとしての 防衛生産・技術基盤の強化

第1節	防衛生産基盤の強化	463
1	防衛生産基盤強化法と基本方針	464
2	防衛生産基盤強化法以外の主な取組	467
第2節	防衛技術基盤の強化	471
1	防衛技術基盤の強化の必要性	471
2	防衛技術指針2023に示す防衛技術基盤の強化の方向性	472
3	次期戦闘機の開発	473
4	民生技術の積極的な活用	475
第3節	防衛装備・技術協力と防衛装備移転の推進	478
1	防衛装備移転三原則にかかわる制度	478
2	防衛装備移転の推進のための取組	480
3	米国との防衛装備・技術協力関係の深化	480
4	新たな防衛装備・技術協力の構築	483
5	防衛装備・技術協力にかかるその他の取組	487
第4節	装備品の最適化の取組	489
1	合理的な装備体系の構築のための取組	489
2	限られた人材を最大限有効に活用するための取組 (無人化・省人化)	489
3	ライフサイクルを通じたプロジェクト管理	489
4	契約制度などの改善	491
5	調達効率化に向けた取組など	492
6	FMS調達の合理化に向けた取組の推進	492

第5節	経済安全保障に関する取組	494
1	基本的考え方	494
2	日本政府内の動向	494
3	防衛省の取組	494

第2章 地域社会や環境との共生に関する取組

第1節	地域社会との調和にかかる施策	495
1	民生支援活動	495
2	地方公共団体などによる自衛隊への協力	496
3	地方公共団体と地域住民の理解と協力を得るための施策	496
4	防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策	497
5	国家行事への参加	500
6	南極地域観測に対する協力	501
7	部外土木工事の受託	501
8	その他の取組	501
第2節	気候変動などの環境問題への対応	503
1	防衛省・自衛隊の施設に関する取組	503
2	在日米軍施設・区域に関する取組	504
第3節	情報発信や公文書管理・情報公開など	506
1	様々な広報活動	506
2	公文書管理・情報公開に関する取組	510
3	政策評価などに関する取組	511

■ 資料編	目次	512
-------	----	-----

■ 索引	513
------	-----

巻末資料

平和を仕事にする

主要装備品、主な広報施設などについて紹介しています。

■ 資料編

<https://www.mod.go.jp/j/press/wp/wp2025/pdf/R07shiryo.pdf>



■ 防衛年表

<https://www.mod.go.jp/j/press/wp/wp2025/pdf/R07nenpyo.pdf>





解説

特定のトピックについて、防衛省の立場からより詳しい説明を加えています。



VOICE

現場の隊員や部外の関係者などによる、個人の立場からの考えや感想などを掲載しています。



視点

防衛研究所の研究者による、個人の立場からよりアカデミックな観点での分析を述べています。研究者個人が公刊資料に依拠して独自の立場から記述したものであり、日本政府あるいは防衛省の公式見解を示すものではありません。

第I部

第1章 概観

解説 各地域間の安全保障環境の連関が
わが国に及ぼす影響……………40

解説 わが国周辺におけるミサイル脅威の高まり……………40

第3章 諸外国の防衛政策など

視点 トランプ政権後の米国の安全保障戦略の見通し……………59

視点 台湾をめぐる中国の軍事動向……………88

解説 北朝鮮とロシアの軍事協力の進展……………119

解説 わが国周辺におけるロシアの軍事動向……………137

視点 イスラエル・パレスチナ武装勢力間の
衝突に起因する中東情勢の緊迫……………168

第II部

第2章 国家安全保障戦略などの「三文書」

解説 反撃能力……………207

視点 抑止力の意義……………208

第3章 防衛力整備と予算

解説 防衛財源と防衛力強化……………226

第4章 安全保障と防衛を担う組織

解説 統合戦司令部の新設……………234

第III部

第1章 わが国自身の防衛体制

解説 尖閣諸島について……………253

視点 認知領域における戦い……………259

VOICE 各国で活躍する防衛駐在官……………286

解説 自衛隊海上輸送群の新編……………291

VOICE 能登半島地震と能登半島大雨災害に従事した
隊員の声……………308

VOICE 「令和6年度自衛隊統合防災演習」に参加して……………316

第2章 日米同盟

VOICE 日米調整・通訳業務を通して感じたこと/
マンスフィールドプログラムを通して感じたこと……………327

解説 普天間飛行場代替施設建設事業にかかる
地盤改良工事について……………340

解説 米軍那覇港湾施設の移設……………342

解説 在沖米海兵隊のグアム移転開始……………345

解説 令和6年度日米共同統合演習
(実動演習)「キーン・ソード25」……………358

第3章 同志国などとの連携

VOICE 豪国防軍統合作戦本部の初代連絡官の声……………367

解説 G7 国防相会合、NATO 国防相会合への
日本初参加について……………373

解説 防衛省によるウクライナ支援の実績……………381

VOICE 2024年度インド太平洋方面派遣
(IPD24) を通じて……………403

VOICE 日米印豪共同訓練「マラバール2024」に参加した
隊員の声……………409

VOICE UNMISSに参加している隊員の声……………416

VOICE スーパー・ガルーダ・シールド
(SGS) 24へ参加して……………424

VOICE 豪空軍演習「ピッチ・ブラック24」に参加して……………424

第IV部

第3章 人的基盤強化のための各種施策

VOICE 防衛省・自衛隊の隊員募集に関する取組、
新たなスタートラインに立って……………432

VOICE 予備自衛官制度創設70周年記念、
活躍する予備自衛官と雇用主の声……………437

VOICE 再就職した隊員と雇用主の声……………441

解説 サイバー予備自衛官の拡充に向けて
『防衛省サイバー人材総合戦略』……………446

VOICE サイバー領域の予備自衛官として……………446

第V部

第1章 いわば防衛力そのものとしての
防衛生産・技術基盤の強化

解説 防衛装備移転円滑化基金の意義……………467

解説 次期戦闘機：国際機関の設立……………474

解説 防衛イノベーション科学技術研究所の創設……………477

解説 GPIの日米共同開発について……………482

第2章 地域社会や環境との
共生に関する取組

解説 防衛省・自衛隊70周年記念観閲式と
航空自衛隊70周年記念行事……………508

解説 オリンピックと自衛隊体育学校の取組……………509